

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年3月16日(2017.3.16)

【公開番号】特開2016-193244(P2016-193244A)

【公開日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2016-064

【出願番号】特願2016-141154(P2016-141154)

【国際特許分類】

A 4 7 L 9/28 (2006.01)

A 4 7 L 9/00 (2006.01)

A 4 7 L 7/02 (2006.01)

A 4 7 L 9/10 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 9/28 E

A 4 7 L 9/00 Z

A 4 7 L 7/02

A 4 7 L 9/10 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

駆動輪を有する走行駆動部と、

前記走行駆動部が搭載され、前記駆動輪の軸線に平行な軸線まわりに回転可能な回転ブラシと、

前記回転ブラシ近傍に吸引口が設けられる掃除機本体と、

前記掃除機本体に設けられ、吸引力を発生する吸引部と、

前記掃除機本体に設けられ、塵埃が貯留される貯留室と、を備え、

前記吸引部の作動時に、前記吸引口から塵埃を流入させて貯留室内に貯留する場合と、貯留した塵埃を貯留室外に排出する場合と、を有することを特徴とする自走式掃除機。

【請求項2】

駆動輪を有する走行駆動部と、

前記走行駆動部が搭載され、前記駆動輪に平行な軸線まわりに回転可能な回転ブラシと、

前記回転ブラシ近傍に吸引口が設けられる掃除機本体と、

前記掃除機本体に設けられ、吸引力を発生する吸引部と、

前記掃除機本体に設けられ、塵埃が貯留される貯留室と、を含む自走式掃除機と、

前記自走式掃除機の貯留室から塵埃を回収する塵埃回収部を含む帰還ステーションと、を備え、

前記貯留室は複数の通気口を有し、

前記自走式掃除機が掃除を行う際には、前記吸引部を作動して前記吸引口から第一の通気口を経て前記貯留室に塵埃を流入させ、前記自走式掃除機が帰還ステーションに帰還した際には、前記吸引部を作動して、貯留した塵埃を第一の通気口とは異なる第二の通気口から前記塵埃回収部へ移動させることを特徴とする自走式掃除装置。

【請求項 3】

前記帰還ステーションに前記自走式掃除機が帰還すると、前記貯留室に設けられた複数の通気口のうち掃除を行う際には閉じていた通気口を開放することを特徴とする請求項 2 に記載の自走式掃除装置。

【請求項 4】

前記帰還ステーションは、自走式掃除機に電力を供給する充電ユニットを含み、
少なくとも自走式掃除機が帰還している間は、前記自走式掃除機に電力を供給可能に構成されていることを特徴とする請求項 2 または 3 のいずれかに記載の自走式掃除装置。